

1・2 「『新外航海運政策』の早期実現に向けた提言」に関する周知活動

当協会は、わが国外航海運産業を国家戦略産業と位置付け、その国際競争力強化を明確に目的とした国家政策を打ち出していく必要性への理解醸成を図るべく、「『新外航海運政策』の早期実現に向けた提言―日本の未来を支えるために―」を平成 27(2015)年 7 月に公表した。(『船協海運年報 2014』および『船協海運年報 2015』の「1・2」参照)。

提言公表後、当協会は、関係方面への周知活動を行ったが、その一環として、特に海事産業の重要性について広く一般の理解醸成を図ることを目的に、「海事クラスターシンポジウム～神戸における海事産業の位置付け～」を平成 28(2016)年 4 月 18 日に神戸市において開催した。当日は、一般参加者や海事関係者等、200 名を超える出席があり、盛会裡に終了した。シンポジウムでは、冒頭工藤会長から挨拶があり、その後、概要以下の基調講演・パネルディスカッションが行われ、海事クラスターの重要性等について講演・議論がなされた。

<シンポジウム概要> ※所属・役職等はすべて開催当時。

1. 基調講演「神戸港と輸送産業の現状と課題」

神戸大学大学院 海事科学研究科 教授 竹林 幹雄 氏

2. 基調講演「海事クラスターと神戸」

衆議院議員 盛山 正仁 氏(自由民主党 海事立国推進議員連盟 事務局長)

3. パネルディスカッション「海事都市・神戸の位置付けおよび将来」

コーディネーター

日本海運経済学会 会長 星野 裕志 氏(九州大学大学院 経済学研究院 教授)

パネリスト(4 名)

神戸大学大学院 海事科学研究科 教授 竹林 幹雄 氏

㈱神戸製鋼所 取締役相談役 佐藤 廣士 氏

川崎重工業㈱ 常務執行役員 船舶海洋カンパニープレジデント 餅田 義典 氏

八馬汽船㈱ 代表取締役社長 伊藤 隆夫 氏(当協会阪神地区船主会議長)